

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
403	通時英語学研究 <Studies in English Diachronic Linguistics>			演習
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)		開講期 Semester	開講時間帯 Day and time
英語学	田中 智之(TANAKA Tomoyuki)		前期	火曜：4限
講義題目 Title	史的英語構文論			
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration	英語学専攻の大学院生、あるいは生成文法と英語史の基本的知識を備えている大学院生に限る。			
授業の目的 Purpose	<p>英語史において起こったいくつかの言語変化の事例を取り上げ、生成文法理論の枠組みにおいてどのように説明されるのかを考察することを通じて、通時英語学の研究方法を身につける。また、授業での活動を通じて、受講生が英語史的統語論に関する研究テーマを発見することも目指す。</p> <p>This course discusses cases of syntactic change in the history of English, and provides students with the methodology of diachronic syntax by considering how they receive a principled explanation within the framework of generative grammar. The course also helps students to find research topics on English historical syntax.</p>			
授業の内容 授業の方法 Content	生成文法に基づく史的統語論に関する文献から、英語史において起こったいくつかの言語変化の事例を取り上げる。受講生による担当箇所の報告の後、そこで引用されている文献の情報も参考にしながら、その内容の詳細について全員で検討する。			
教科書 テキスト Textbooks	Haeberli, Eric and Tabea Ihsane (2016) "Revisiting the Loss of Verb Movement in the History of English," <i>Natural Language and Linguistic Theory</i> 34, 497-542.			
参考書 References	上記の文献で引用されている文献。その他については適宜紹介する。			
受講生の 自宅学習 Preparation and review	上記の文献を英語表現を含めた細部にわたって精読し、その内容について吟味しておく。担当者は準備として、担当箇所の内容と引用されている文献の情報を報告できるようにしておく。			
成績評価の 方法と基準 Evaluation	学期末のレポート(40%)、授業での報告(30%)、授業への積極的参加(30%)			
連絡方法 Contact information	オフィスアワーに研究室に来るか、電子メール(tanakat@lit.nagoya-u.ac.jp)等で時間を相談の上、研究室に来ること。			